

スマイルだより

2023年5月号 [部内用]

jcp-osakachuo 発行: 中央区日本共産党後援会
大阪市中央区玉造 1-21-3
TEL 06-6762-6671 fax 06-6763-2716
<https://www.jcp-osakachuo.org/>
mail: jcptama1@agate.plala.or.jp



今を新しい戦前にさせないために 私は改憲許さない！



2023.5.3「おおさか総がかり憲法集会」で立憲4政党と参加者（扇町公園）

NHKの朝ドラ「らんまん」を楽しんでみに見てします。主人公の万太郎が家業の中、自由民権運動に触れ、彼は「自由」について考えます。今こそ、自由は憲法12条・13条に国が、研究の道かの選択を迫られて苦しむ先輩たちの長い血と涙の歴史があります。今に至るまでには、私が危険だと感じるのは、この長いたたかいによってかかることがあります。安倍政権時代に特に強まってきた改憲の動き。日本を戦争できる国にするためには、

「緊急事態」などという名の元に、首相に権限が集約され、国会や裁判所をとおさず、内閣单独で法律が作られ、長期政権を維持する権利が大幅に制約され、政府に批判的な言動に対する弾圧の可能性も出でています。



「緊急事態条項」は自由を奪う！

自由を制限し、国民を同じ方向に向けさせようというのが「緊急事態条項」の狙いだと私は思います。

今では憲法審査会で、自民、公明、維新、国民党4党までが、「緊急事態条項」という名の元に、首相に権限が集約され、国会や裁判所をとおさず、内閣单独で法律が作られ、長期政権を維持する権利が大幅に制約され、政府に批判的な言動に対する弾圧の可能性も出でています。

楠田

るみ

4月に国が認可した大阪のカジノ計画

カジノ「審査報告書」は問題だらけです

それでも合格？

①「カジノ来訪者が明確でなく評価は困難」と指摘しています。さらに予測数が盛りすぎ、経済効果も盛りすぎの内容であることを示唆しています。

②地盤沈下については「実測データ等が限られ、土壌汚染についても十分な調査が行われてないことを指摘しています。

③災害発生時にトンネルが使えず孤島となる想定がなく、危険な場所であることを指明しています。

④カジノに反対する活動を挙げ課題が残るとして、地域住民との対話の場を設けとまで述べています。地域の合意形成ができるかもしれません。

審査結果について

- 7人の審査委員の採点の平均点を審査委員会の点数とし、合計点で600点以上を認定の条件とした。
- 大阪の審査結果は657.9点であり審査委員会は「認定し得る計画」と評価。
- 長崎については審査が終了しておらず、引き続き審査を継続することとする。

大阪の審査結果	配点	得点	得点率
(1)国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現	30	18.0	60%
(2)経済的効果	30	19.7	66%
(3)IR事業運営の能力・体制	10	8.6	86%
(4)カジノ事業収益の活用	30	18.9	63%
(5)カジノ施設の有害影響排除等	20	15.7	79%
(6)依存症について	50	32.9	66%
(7)MICE施設の運営方針等	50	34.3	69%
(8)魅力増進施設	50	35.0	70%
(9)送客施設	50	34.3	69%
(10)宿泊施設の規模	20	14.9	75%
(11)レストラン等のサービス	10	7.1	71%
(12)宿泊施設のサービス内容・体制	30	21.9	73%
(13)その他施設	30	19.3	64%
(14)カジノ施設のデザイン等	20	11.1	56%
(15)交通利便性	5	3.7	74%
(16)交通アクセスの改善等	15	10.9	73%
(17)観光への効果	50	29.3	59%
(18)地域経済への効果	50	37.1	74%
(19)2030年の政府の観光戦略の目標達成への貢献	50	32.9	66%
(20)IR事業者等の事業遂行能力	50	37.9	76%
(21)財務の安定性	50	33.6	67%
(22)防災・減災対策、コロナ等の感染症対策	50	33.7	67%
(23)地域との良好な関係構築のための取組	50	27.1	54%
(24)カジノ事業の収益の活用	50	30.0	60%
(25)依存症対策等	150	90.0	60%
合計点	1000	657.9	



法律相談

5月17日(水)
18時30分

場所 日本共産党大阪中央地区委員会
※ 相談ご希望の方は、事前にご予約をお願いします
☎(06) 6762-1191
担当 丸岡ひろし

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

カジノを止めよう!
認定は撤回、計画の中止を!
国・大阪府・市への新たな署名運動にとりくもう

は1つだけでも重大ですが、今後の課題として先送りして認可するという、結論ありきの審査

が行われました。
しかもどんな議論を行ったかも非公開です。
佐々木二郎

